

# 研究推進計画

## 研究構造図

【研究主題】 自分の考えを表現し、深め合う子どもの育成  
～全体での学び合いの場の充実を通して～

### 【目指す子ども像】

- ①自分の考えをもち、表現できる子ども  
【表現する力】
- ②協働して課題を解決し、考えをつくり出す子ども  
【関わる力】【考える力】
- ③学んだことを活かし、行動につなげたり、発信したりできる子ども  
【やり抜く力】

### 【目指す授業像】

- 一人一人の考えをもち寄り、学び合うことで「分かった」「できた」が実感できる授業
- ①自分の考えをもち、様々な表現方法で書く  
[主体的な学び]
  - ②目的を明確にし、ペア・グループで学び合う  
[対話的な学び]
  - ③教師の適切なコーディネートのもと、全体で学びを深める  
[深い学び]

### 【研究テーマ設定の理由】

本校児童は明るく素直で、学習活動に対して意欲的であり、まじめに取り組むことができる。昨年度は、算数科を中心とし、「書くこと」と学び合いの場面のさらなる充実を図ることで、自分の学びの変容や深まりを自覚することができるような取組を進めてきた。その結果、考えを分かりやすく記述したり、説明したりすることができるようになってきている。しかし、児童それぞれが考えをもつ段階まではできても、全体の学び合いの場で、それぞれの考えを関連付けたり、広げたりすることに課題があることが見えてきた。その課題を解決するためには、適切に学びをコーディネートする力が必要となる。さらに、算数科を中心とした研究の成果は他教科に広がっていないという点も課題である。

そこで、今年度は算数科での実践を他教科へ広げながら、全体での学び合いの充実を目指す取組をしていきたいと考えている。

### 研究内容①

#### 子どもの主体的な学びを保障する学習展開の工夫

- ・児童の実態と育成を目指す資質・能力の把握
- ・問いや挑戦の意欲を引き出す課題設定や提示方法

### 研究内容②

#### 考えを広げ、深め合う学び合いの場の工夫

- ・目的を明確化したペア・グループ学習の設定
- ・適切なツールの活用による考えの視覚化
- ・児童の思考をゆさぶり、考えを深める発問の工夫
- ・学び合いを深めるための系統的な「話す」「聞く」力の育成

### 研究内容③

#### 分かりやすく書く力の育成

- ・表現力向上のための語彙を増やす取組
- ・体験を基にした日常的な「書くこと」への取組
- ・書いたものの発信、感想等をフィードバックする場の設定

### 【研究仮説】

- ・全体での学び合いの場を意図的に設定し、児童の思考をゆさぶる発問の工夫などにより学びをコーディネートすることで、思考を深め、授業のねらいにせまることができるであろう。
- ・「書くこと」を軸に、自分の考えや思いを表現する活動を意図的に設定することで、自分の考えをしっかりと互いに伝え合うことができるようになり、深い学び合いにつながるであろう。

### 【研究のまとめ】

- ・PDCAサイクルを共有しながら研究内容に沿って全体の授業改善を図る。
- ・年に2度、児童と教師のアンケートを実施し、子どもの変容や指導の手立ての有効性を確認する。